

平和を守る全国弁護士会アクションの日

3.10

徳島弁護士会
講演会



講師：猿田佐世 [さるた・さよ]
弁護士/新外交イニシアティブ (ND) 代表

早稲田大学法学部卒業。コロンビア大学ロースクール法学修士号取得。
アメリカン大学国際関係学部にて国際政治・国際紛争解決学修士号取得。
新外交イニシアティブ (ND) 上級研究員・弁護士 (日本・ニューヨーク州)・
立教大学講師・沖縄国際大学特別研究員。

主な著書

『自発的対米従属 知られざる「ワシントン拡声器」』(角川新書)、
『新しい日米外交を切り拓く 沖縄・安保・原発・TPP、多様な声をワシントンへ』(集英社)、
『米中の狭間における日本の探るべき進路は--Don't make us chooseとの連帯』
(雑誌「世界」2020年11月号)など。

2024年(令和6年)3月10日[日]
午後2時-4時30分(開場1時30分)

とくぎんトモニプラザ大会議室(アミコビル9F)
徳島市寺島本町西1丁目5番地

参加無料、事前申込不要(定員150名)

主催：徳島弁護士会 共催：日本弁護士連合会

お問合せ先：徳島弁護士会 TEL:088-652-5768 <https://tokuben.or.jp/>

外交で
平和を守れるのか。
その具体的方策について考える

ウクライナやガザ地区で多くの死者が出ています。アジアでは、北朝鮮のミサイル発射や台湾をめぐる米中の対立の深まりで国民に不安が広がっています。そんな中、政府は、反撃能力(敵基地攻撃能力)の保有と防衛費の倍増を決めました。国会議員の任期延長を認める緊急事態条項の創設や憲法9条に自衛隊を明記する憲法改正論議も活発に行われています。日本、そして、東アジアの平和を守るにはどうしたらよいか、外交はどうあるべきか、皆様と一緒に考えたいと思います。

